

令和2年7月7日

栃木県少年サッカー連盟
登録チーム 関係各位

栃木県少年サッカー連盟

新型コロナウイルス関連の対応について（自粛要請）

日頃より当連盟の活動に、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

各チームにおかれましては、国による緊急事態宣言及び栃木県による緊急事態措置の解除後、各種ガイドラインを参考にしながら、チームの活動を順次再開されていることと思います。

しかしながら、東京都での感染者が連日100人を超え、また、栃木県内においても、6月27日以降、20件以上の感染が確認されております。栃木県の現在の行動規準は感染観察の段階にありますが、現状は予断を許さない状況にあります。

Jリーグ等のプロスポーツでは、徹底したコロナ対策の上で無観客での試合を再開しておりますが、少年の活動に関しましては、まだまだ慎重に対応しなければなりません。選手が通う小学校においても、徹底したコロナ対策を実行しながらの授業を連日続けているのが現状です。

また、先日栃木県サッカー協会医事委員会より出されました「栃木県サッカー協会の活動再開に向けたガイドライン（行動指針）」によれば、現在栃木県内は感染観察の段階で活動レベル3であり、チーム活動は原則再開となっております。ただし、各フェーズにおけるトレーニング及び活動内容は、活動再開後5-6週を目安にトレーニングマッチの実施（選手のコンディションを考慮して段階的に実施。連戦は控え、出場時間もコントロールする。実施時は政府や学校による指針を遵守する。）の段階にやっとなったところであります。また、練習再開後、日が浅いこともあり、熱中症に対して、選手の体の適応がまだできていない状況にもあるとも考えられます。

連盟としましては、以上のような感染状況、そして4種年代のフィジカルの状況をふまえ、大会等への参加は、まだまだ先のことと捉えております。

そこで、連盟として、次のように各登録チームにお願いをいたします。

- ① コロナウイルス感染症の状況については、常に最新の情報を収集した上でチームの運営を行う。
- ② 県外のチームとの交流はできるだけ避ける。
- ③ 県内においても、感染拡大の地域との練習試合等の交流は状況が落ち着くまで見合わせる。（くれぐれも差別的な対応にならないようにご配慮ください）
- ④ 多数のチームが集まる練習試合及び招待試合等の開催及び参加は自粛する。
- ⑤ 各チームの活動においては、各種ガイドライン及び小学校の対応を参考に、感染対策を徹底する。

各チームにおかれましては、1日も早くチームの活動を充実させたいところではあると推察されます。しかし、選手及びチーム関係者、そしてその家族を守るため、冷静かつ慎重なチーム運営に努めていただきますよう、ご協力の程よろしくお願いたします。